

文教委員会 所管事項

【教育指導部】

1 確かな学力の定着について

一人ひとりの児童・生徒が確かな学力を身につけることができるよう「わかる授業」「魅力ある授業」づくりと「個に応じた学習の充実」を進める。「わかる授業」「魅力ある授業」づくりについては、教科指導専門員等の巡回指導やICT活用の促進を通じて授業改善を進める。「個に応じた学習の充実」については、専門非常勤職員や民間事業者による補習の充実、AIドリルなどデジタル教材の活用による個々の学習進度に応じた個別最適な学びをめざす。

2 心身の健全な発達について

心の育成については、特別の教科道徳や心のユニバーサルデザインの教育、いじめ防止の取り組みを通じ、多様性の理解や他者の尊重など人権意識の向上を図る。また、身体の面では、コロナ禍による子ども達の体力低下を踏まえ、怪我の防止に配慮しつつ、各校の実情に合わせて運動・体育の取り組みを徐々に拡大するなど、体力の回復と向上をめざす。さらに、自他の尊重を土台に置く「生命（いのち）の安全教育」のカリキュラムや教材の開発も進めていく。

3 主体的、対話的で深い学びの実現について

これからの時代を生き抜く力を育成するため、主体的、対話的で深い学びを進める。ICT環境の更なる充実や学校図書館の利活用促進を通じ、自ら情報を収集・整理し、多様な他者と協働しながら課題を見つけ、解決していく能力を育成していく。

4 その他

教育指導部については、令和4年度所管事務概要131ページから134ページに記載

【学校運営部】

1 家庭・地域と連携した学校運営支援及び教育環境の整備

開かれた学校づくり協議会や学校運営協議会による学校経営・学校運営支援をはじめ、統合地域協議会との協働による統合新校設置準備、地域や警察関係機関との連携による安全な通学環境の整備等、学校と家庭、地域との連携や協働を重ね、児童・生徒の教育活動・教育環境の充実を図る。

2 児童・生徒の心身の健全な発達の支援

「おいしい給食・食育」を推進し、積極的な野菜摂取やフードロスに関する意識の向上を図り、子どもたち自身の健康増進意欲や実践力を培う。

また、小児生活習慣病予防健診や食後の歯みがき、6歳臼歯むし歯予防教室等の歯科保健に着実に取り組み、子ども達の健やかな成長を支える。

3 児童・生徒の豊かな心や自己肯定感の育成

自然体験教室（日光・鋸南・魚沼）や生涯学習振興公社に委託している「放課後子ども教室」等、多彩な体験活動・交流活動の機会の充実を図り、児童・生徒の豊かな心や自己肯定感を育む。

また、日光林間学園や鋸南自然の家等の指定管理者による校外施設管理運営の充実を図る。

4 その他

学校運営部については、令和4年度所管事務概要135ページから140ページに記載

【子ども家庭部】

1 安全安心への取組の徹底と教育・保育の質の向上

各園において、安全な管理に具体的に取り組めるよう、保育園における足立区危機管理マニュアルを改訂する。

また、経験年数の浅い園長等も多く見られる現状を鑑み、法に基づく指導検査と巡回訪問による寄り添い支援を拡大・強化し、引き続き、就学前教育・保育の質の向上に取り組んでいく。

2 生命（いのち）の安全教育

今年度策定する取組方針を基に、保育者に対し人権研修や年齢別研修を実施し、生命（いのち）の安全教育（子どもが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならない）について理解を深め、現場にて子どもへの教育及び保護者への啓発を行っていく。

3 発達支援児対策の取り組みを強化

就学期の児童・生徒の保護者へ子どもの特性を伝えるだけでなく、必要に応じて学校を訪問し、発達特性に応じた学習面や行動面での配慮なども伝え、支援の幅を広げていく。

また、「個別の教育支援計画・個別指導計画作成システム」を全校に導入し、教員の負担軽減を図るとともに、計画の質的向上を図り、適正指導につなげる。

4 医療的ケア児支援

医療的ケア児等の情報収集に努めることで、重層的支援体制の構築に取り組んでいく。まずは、学校における受け入れ体制の検証のため、小学校2校で試行実施し、本格実施につなげる。

5 その他

子ども家庭部については、令和4年度所管事務概要141ページから150ページに記載